

3月の政治・経済イベント

重要 01 米国では期待インフレが上昇、今後の金融政策への影響に注目

米国では、労働市場が底堅く推移する一方、期待インフレが上昇傾向にあります。また、1月の消費者物価指数では伸び率が加速しました。パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長は、米経済は総じて堅調でインフレ率は目標の2%を依然として上回っており、追加利下げは急がない姿勢を示しています。3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）でパウエル議長が利下げ継続の方針を維持するかどうかをみる上でも、開催前に確認できる期待インフレや物価動向などの経済指標が注目されます。

重要 02 日本では春闘集中回答に注目、日銀の追加利上げの行方はいかに

日本では、物価上昇を上回る賃上げの定着があと一步のところであり、3月中旬の春闘の集中回答の結果が注目されます。日銀は利上げの判断材料に春闘の勢いをあげ、一方で物価においては為替変動の影響が大きくなっていると、為替動向を注視しています。日銀の植田総裁は現在の政策金利の水準が緩和的であると、利上げ継続の姿勢を示しています。3月の金融政策決定会合で植田総裁が今後の追加利上げのタイミングをどのように説明するか注目が集まります。

重要 03 中国では「全人代」が開幕、米トランプ政権発足後の経済対策に注目

中国では、3月5日に「国会」に相当する全人代（全国人民代表大会）が開幕します。米トランプ政権下で対中追加関税が発動され、中国政府はこれに対し報復関税を発表しています。このように米国からの経済的な圧力が見込まれる中で、2025年の経済成長率目標がどのような水準に設定されるか、また、どのような経済対策や外交政策が打ち出されるかに注目が集まりそうです。

3月の主な政治・経済イベント

	国・地域	予定
5日(水)	中国 	全人代（全国人民代表大会）開幕
6日(木)	ユーロ圏 	金融政策発表
7日(金)	米国 	雇用統計（2月）
10日(月)	日本 	毎月勤労統計調査（1月分結果速報）
12日(水)	米国 	消費者物価指数（2月）
14日(金)	米国 	ミシガン大学消費者信頼感指数（3月）
19日(水)	日本 	金融政策発表
19日(水)	米国 	金融政策発表
21日(金)	日本 	全国消費者物価指数（2月）
3月中旬	日本 	春闘（春季労使交渉）集中回答日

上記は、すべて現地時間で作成しており、作成時点で利用可能な最新の情報を用いておりますが、発表日は変更される可能性があります。
 (出所) Bloombergデータ等より野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目録見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2025年2月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。